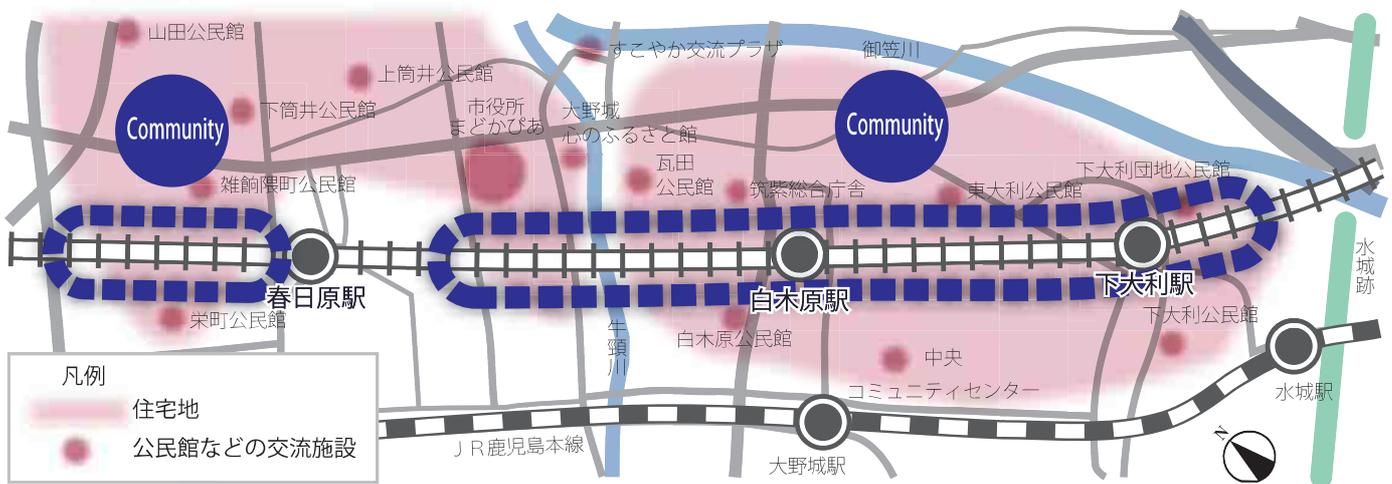


4. 機能イメージ

Community

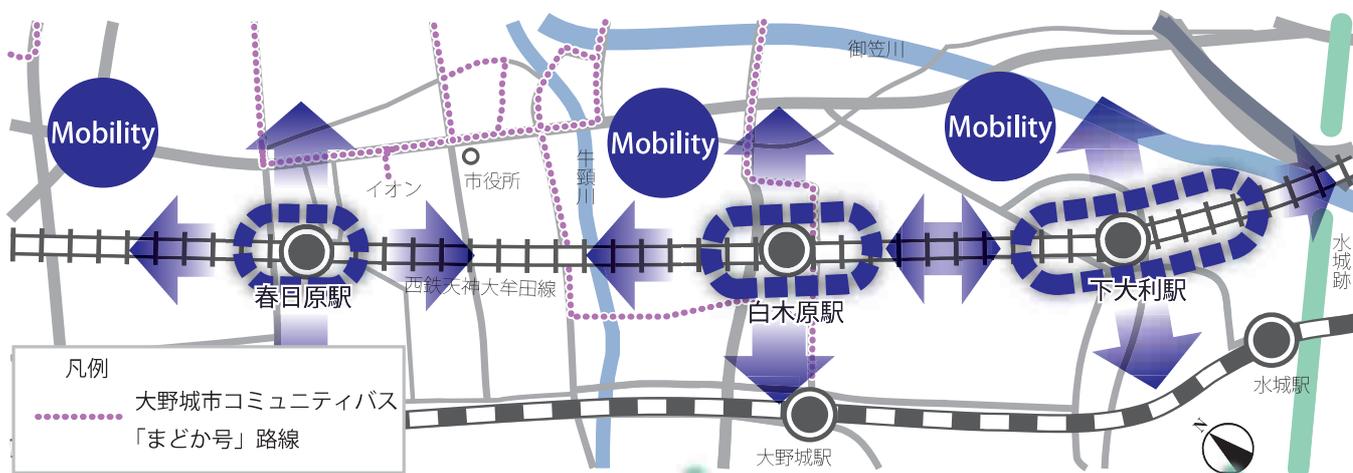
- 本計画の**対象範囲は、ほぼ全域が住宅地**となっているため、近隣に住む市民にとって身近で交流を深めることができる場所となるよう、**高架下空間全体に Community を育む機能を配置する。**
- **みどり豊かで快適な歩行空間や、誰もが憩えイベントにも活用できる地域の広場等、交流を育みやすい機能配置を行う。**



4. 機能イメージ

Mobility

- 交通結節点である駅周辺部では **Mobility 機能の強化**を図る。
- 自転車駐輪場の整備や、レンタサイクル、カーシェアリング、次世代モビリティの導入等、環境に優しい Mobility の活用を推進する。
- 福岡空港や高速道路、J R鹿児島本線など主要な交通拠点との連携を高め、都市全体での Mobility 機能の向上に努める。
- 自転車ネットワークの検討やコミュニティバスルートとの再編等と連携し、市域全体での交通利便性の向上を図る。



※写真は機能のイメージです。

Wellness

- 高架化によって新たに生み出される空間を活用し、**歩くことを楽しむまちづくり**を推進するため、本事業の**対象範囲全体を通して Wellness に係る機能を配置**する。
- 高架下の利用や歩道への屋根の設置等により、**雨に濡れずに歩くことができる空間づくり**を行う。
- 大野城トレイルとの連携を高め、**市内を中心とした広域的な回遊性の向上**を図る。

